

仙台市地下鉄東西線の駅名についての提言

平成25年12月

仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会

目 次

	(頁)
1 提言にあたって-----	1
2 審議の方法-----	2
3 提言	
(1) 正式駅名案-----	3
(2) 付帯意見-----	6

参考資料

仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会 開催経過-----	7
----------------------------	---

1 提言にあたって

東日本大震災からの復興を進める仙台市にとって、市の東西を結ぶ地下鉄東西線整備事業は、市の新たな発展と交流を生むまちづくりの要となる最重要プロジェクトの一つであります。

私たち仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会（以下「委員会」という。）は、仙台市からの委嘱を受けて、現在仮称とされている東西線の駅名について、誰もが分かりやすく、親しみを感じられるよう、募集した市民意見や地域からの要望等も踏まえ、審議を重ねてまいりました。

このたび、東西線の駅名について、委員会としての審議結果を取りまとめ、提言する運びとなりました。

この提言が今後、仙台市が正式に駅名を決定される際の一助となるとともに、東西線が多くの人に愛される市民の足として早期に誕生し、仙台市における復興や復興の先を見据えた新たなまちづくりが加速されますよう、委員一同願ってやみません。

平成25年12月

仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会

委員長	宮原 育子
委員長職務代理	志賀 秀一
委員	相澤 義博
委員	加藤 優平
委員	紺野 純一
委員	佐藤 憲子
委員	佐藤万里子
委員	中村 敦子
委員	橋浦 隆一
委員	渡邊 礼子

2 審議の方法

駅名に関する審議にあたっては、東西線整備事業の概要や各駅の周辺状況などを資料や現地視察により確認しました。

また、各駅の駅名を審議する際の指標として、下記の駅名選定基準を策定しました。

【東西線駅名選定基準】

- ① 次の名称のうち、いずれか。
 - a) 駅所在地や周辺の町名または字名
 - b) 駅付近の公共施設名
 - c) 地域の名所旧跡、山河、通りの名称、公園など
 - d) 上記地名等と位置関係の分かる文言（方角等）とを組み合わせた名称
- ② 難読名称は避ける。
- ③ 長い名称は避ける。
- ④ 複数駅で類似した名称は避ける。
- ⑤ 特定の個人や団体への利益につながるような名称は避ける。

※ 仙台駅については、地下鉄南北線や JR 線との位置関係も考慮すると同じ駅名が望ましいため、上記基準の適用外とし、現在の仮称駅名のとおり「仙台」とする。

続いて、上記選定基準を指標としつつ、仙台市が行った市民意見の募集結果や地域からの要望等も参考として、以下の点について留意して各駅の駅名の検討を行いました。

- ・ 市民意見のうち「仮称のままが良い」とする意見が多数あったことから、仮称駅名を基本としつつも、駅によっては、仙台市民のみならず、市外からの観光者等にとっても駅の所在地が特定しやすく、より分りやすくなる場合、仮称駅名と地域名、通り名等の組み合わせも考慮すること。
- ・ 駅周辺地域の歴史や由来、成り立ちなどを考慮すること。
- ・ 今後の新しいまちづくりへの転換や期待を込めた地域からの要望については、可能な限りこれを尊重すること。

なお、駅名としての選定までには至らなかったが、駅名以外で駅周辺の著名な施設などを案内することが望ましいと思われる駅については、付帯意見を記載しました。

3 提言

(1) 正式駅名案

東西線各駅の正式駅名案として以下のとおり提言いたします。

【凡例】		
○ 仮称駅名	⇒	委員会選定駅名
(理由)
.....	

○ 動物公園駅 ⇒ 八木山動物公園駅

(理由)

駅周辺には、動物公園、ベニーランドなどの施設が立地し、駅北側は緑豊かな自然が広がっている。

当駅は、南西部地域の玄関口となる東西線の西の起点駅となり、駅周辺への交流人口の拡大が予想されるなか、市内外からの観光客誘致を推進していく上でも、駅の所在地を特定できるよう仮称駅名の「動物公園」に、地域名の「八木山」を付加して「八木山動物公園駅」とすることが望ましい。

○ 青葉山駅 ⇒ 青葉山駅

(理由)

駅周辺には、青葉山の豊かな自然に包まれた東北大学青葉山キャンパスが立地し、新キャンパス整備も進んでいる。

東北大学は、学都仙台の象徴でもあるが、駅名選定基準に照らせば、特定の学校名を用いることは避け、駅周辺の自然環境など、地域性を表現する駅名とするべきと考える。

よって、都心部に近接しているにもかかわらず豊かな自然を感じ楽しむことができる環境の存在を重視し、仮称駅名どおり「青葉山駅」とすることが望ましい。

○ 川内駅 ⇒ 川内駅

(理由)

駅は、広瀬川と青葉山という豊かな自然に挟まれた地区に位置し、駅南側には、東北大学川内キャンパスが立地し、北側は住宅市街地が形成されている。

(仮称) 青葉山駅と同様に東北大学の名称は避け、駅周辺の地域性として、自然と生活が調和し、快適に暮らせる街を感じ取れるよう、駅周辺の町名を用いて、仮称駅名どおり「川内駅」とすることが望ましい。

○ **国際センター駅 ⇒ 国際センター駅**

(理由)

駅周辺は、杜の都仙台の代表ともなる広瀬川と青葉山の自然の景観が広がり、また、観光上重要な歴史的資源も併せ持った学術文化交流拠点となる地域であることから、周辺を包括的に表す名称が望ましいところである。

仙台市が国際都市として進展していくことを展望したとき、国際センターはこのような地域の象徴となる施設であり、仮称駅名どおり「国際センター駅」とすることが望ましい。

○ **西公園駅 ⇒ 大町西公園駅**

(理由)

桜の名所として市民に親しまれる認知度の高い西公園の中に駅は立地しており、駅名に「西公園」はふさわしいとも考える。

一方で、駅の一部は大町にも立地し、「大町」の町名は、駅周辺の交差点、バス停、交番の名称にも用いられている。

西公園は南北に長く、「大町」を付けることにより、場所が特定しやすく、観光客にもわかりやすくなることから、地域からの新たな街づくりへの期待等を含めた要望も踏まえ、仮称駅名の「西公園」に「大町」を付加した「大町西公園駅」とすることが望ましい。

○ **一番町駅 ⇒ 青葉通一番町駅**

(理由)

駅は一番町通と青葉通が交差する地点に位置している。一番町は仙台の都心部を代表する町名であるが、南北に長い地域であることから、駅が設置されるケヤキ並木が美しい通り名「青葉通」も併せて用いることで、駅位置を特定しやすくすることが良いと考える。

よって、仮称駅名の「一番町」に「青葉通」を付加した「青葉通一番町駅」とすることが望ましい。

○ **新寺駅 ⇒ 宮城野通駅**

(理由)

駅の所在地は宮城野区榴岡であり、仮称駅名である若林区「新寺」には位置していない。

また、駅は宮城野通にも位置していないものの、当駅は、東西線の駅で唯一宮城野区に所在し、仙台駅東側を代表する道路の宮城野通に近く、地域からの新たな地域発展への期待等を含めた要望も踏まえるとともに、「宮城野」という言葉の響きの良さや由来なども考慮し、地域の代表的な通り名を用いて「宮城野通駅」とすることが望ましい。

○ **連坊駅 ⇒ 連坊駅**

(理由)

駅周辺は古くからの住宅市街地が広がり、仙台第一高等学校に隣接している。同校の名称を駅名とする市民意見も多数寄せられているが、駅名選定基準に照らして特定の学校名ではなく、地域性を表現する駅名が良いと考える。

よって、藩政時代以来の歴史が息づき、落ち着いた環境の駅周辺を代表する地域名を用いて、仮称駅名どおり「連坊駅」とすることが望ましい。

○ **薬師堂駅 ⇒ 薬師堂駅**

(理由)

(仮称)連坊駅と同様、駅周辺には古くからの住宅市街地が広がり、奈良時代に建立された国指定史跡陸奥国分寺跡や、伊達政宗公が再興した国指定重要文化財の薬師堂など、多様な歴史文化遺産が存在している。

周辺地域の歴史や観光的価値の側面から、市民意見でも多く寄せられた「陸奥国分寺」と仮称駅名である「薬師堂」をつないだ駅名とするのも一案であるが、薬師堂は国指定の重要文化財であることを重視し、仮称駅名どおり「薬師堂駅」とすることが望ましい。

○ **卸町駅 ⇒ 卸町駅 又は おろしまち駅**

(理由)

駅周辺の卸町地区は、かつての卸流通業を基本としながら、商業、居住、文化等の機能を活かした新しい街の形成に取り組んでいる。

駅周辺の二つの地域から異なる要望が寄せられており、いずれも有力な駅名候補として審議したが、駅周辺の今後の街づくりを展望し、また、駅周辺地域の代表としてふさわしい町名としての仮称駅名で用いられていた「卸町」の名称を採用することが望ましい。

なお、卸町の街としての機能や成り立ち、また親しみやすさや新たな街への転換の視点から、漢字表記と平仮名表記の両案が考えられるため、標記のとおり「卸町駅」又は「おろしまち駅」の両案併記とする。

○ **六丁の目駅 ⇒ 六丁の目駅**

(理由)

駅周辺は本市の製造業を支える仙台工業団地、仙台印刷工業団地が立地する地域として、現在も一般的に知られていることから、この地域名を用いて、仮称駅名どおり「六丁の目駅」とすることが望ましい。

○ **荒井駅 ⇒ 荒井駅**

(理由)

市民意見で比較的多く寄せられた「七郷」については、荒井地区を含む広範な地域の名称であること、駅周辺においては、荒井土地区画整理事業や荒井東土地区画整理事業が進展していることから、東部地区の新規開発地域として代表する地域名を用いて、仮称駅名どおり「荒井駅」とすることが望ましい。

(2) 付帯意見

前述の正式駅名案についての提言のほか、以下の付帯意見についてご配慮願います。

○ (仮称) 青葉山駅及び (仮称) 川内駅について

学都仙台の象徴でもある東北大学が駅に隣接しており、同学からの要望や、市民意見募集の結果でも、同学の名称を用いた意見が多数寄せられている。

駅名選定基準に照らして、同学に関する名称を駅名候補から外したが、同学について、副駅名などとして案内すること。

○ (仮称) 国際センター駅について

駅周辺には藩政時代からの仙台の歴史を象徴する仙台城跡があり、仙台城に関連した名称を用いた市民意見が多かったことなども考慮し、「仙台城」などの名称を用いて、副駅名などとして案内すること。

○ (仮称) 連坊駅について

仙台第一高等学校が駅に隣接しており、同校の名称を用いた市民意見が多数寄せられた。

駅名選定基準に照らして、同校に関する名称を駅名候補から外したが、同校について、副駅名などとして案内すること。

仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会 開催経過

平成25年

6月14日

第1回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会

- ・ 委嘱状交付
- ・ 委員長選出及び委員長代理指名
- ・ 委員会の運営について
- ・ 東西線建設事業及びこれまでの経緯等について
- ・ 検討の進め方と今後のスケジュールについて

7月19日

第2回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会

- ・ 東西線駅名の選定基準について
- ・ 東西線駅名の市民意見募集について (※)

10月21日

第3回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会

- ・ 東西線駅名の市民意見募集結果等について (※)
- ・ 東西線正式駅名案について

11月27日

第4回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会

- ・ 東西線正式駅名案について

※ 仙台市では、7月30日から8月31日まで、地下鉄東西線各駅の正式駅名について市民意見を募集した。